



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,125	△1.4	△12	—	△11	—	△12	—
29年3月期第1四半期	1,141	2.6	△8	—	△7	—	△7	—

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 △7百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△1.75	—
29年3月期第1四半期	△1.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	2,636	1,001	38.0	143.06
29年3月期	2,756	1,016	36.9	145.20

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 1,001百万円 29年3月期 1,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は1円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	5.5	20	—	20	—	15	—	21.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	7,055,000 株	29年3月期	7,055,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	57,101 株	29年3月期	57,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,997,899 株	29年3月期1Q	6,997,991 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.平成29年6月29日開催予定の第50回定時株主総会で株式併合を決議し、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

(1) 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末1.00円

(2) 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期2.14円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10
(その他注記事項)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復がみられる一方、欧州情勢や米国新政権の政策に対する懸念、中国をはじめとするアジア経済の不確実性などから、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全や食に健康を求める消費者意識が高まる一方、経済性や簡便性を食に求める消費者もまだまだ多く存在し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは「食」が持つ大切さを訴えるという創業以来の企業使命を果たすため、第4次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』(平成29年4月1日から平成32年3月31日まで)を作成しました。その初年度となります当連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全とオーガニック市場に関心と大手食品企業を含めた競争がさらに高まる中、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「副食品」が、熟成発酵黒にんにく及びコンビーフの売上減があったものの、有機トマト缶及び五目ちらし寿司の素等の売上増により前年同四半期比8百万円増(4.4%増)の2億6百万円、「嗜好品・飲料」が、五穀茶及びナッツ類の売上減があったものの、チョコレート及びメイシーシリーズ(菓子)等の売上増により前年同四半期比8百万円増(4.7%増)の1億88百万円、「栄養補助食品」が、ユーグレナ及びルイボス茶等の売上減があったものの、ハト麦酵素や板藍根等の売上増により前年同四半期比5百万円増(13.9%増)の48百万円、「その他」が、スチームオープン及びトースター等の売上減があったものの、ビタミンC保湿美容液及び虫よけスプレー等の売上増により前年同四半期比0.6百万円増(1.6%増)の40百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、べに花油及びごま油の売上増があったものの、えごま油及びマーガリン等の売上減により前年同四半期比17百万円減(8.5%減)の1億92百万円、「乾物・雑穀」が、味付のり及び干し桜えび等の売上増があったものの、押麦及びもち麦等の売上減により前年同四半期比12百万円減(13.8%減)の80百万円、「調味料」が、マヨネーズ及び顆粒だし等の売上増があったものの、液体だし及びドレッシング等の売上減により前年同四半期比9百万円減(2.4%減)の3億69百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、11億25百万円(前年同四半期比15百万円減、1.4%減)となりましたが、売上総利益率25.3%と前年同四半期比0.2ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は2億97百万円(前年同四半期比2百万円増、0.8%増)となり、営業損益につきましては、営業損失12百万円(前年同四半期は、営業損失8百万円)となり、経常損益につきましては、経常損失11百万円(前年同四半期は、経常損失7百万円)という結果にて終了しました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失は、12百万円(前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円)となりました。

## 品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第1四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

## ① 販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		前年同四半 期比	主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
油脂・乳製品	210,031	18.4	192,222	17.1	8.5%減	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油
調味料	378,893	33.2	369,743	32.9	2.4%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	179,573	15.7	188,103	16.7	4.7%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)
乾物・雑穀	92,774	8.1	80,004	7.1	13.8%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび
副食品	197,785	17.3	206,492	18.3	4.4%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	42,964	3.8	48,935	4.3	13.9%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユーグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶
その他	39,678	3.5	40,326	3.6	1.6%増	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合計	1,141,700	100.0	1,125,826	100.0	1.4%減	—

## ② 仕入実績

品目別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		前年同四半期比
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
油脂・乳製品	211,698	23.1	144,975	17.4	31.5%減
調味料	290,528	31.6	274,813	32.9	5.4%減
嗜好品・飲料	141,422	15.4	142,968	17.1	1.1%増
乾物・雑穀	74,100	8.1	65,283	7.8	11.9%減
副食品	133,749	14.6	134,557	16.1	0.6%増
栄養補助食品	28,983	3.1	37,975	4.5	31.0%増
その他	37,452	4.1	34,957	4.2	6.7%減
合計	917,935	100.0	835,532	100.0	9.0%減

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億30百万円の減少となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の10百万円増加などがあったものの、「現金及び預金」の1億40百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円の増加となりました。この主な要因は、「投資有価証券」の6百万円増加及び「保険積立金」の4百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億19百万円減少し、26億36百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて72百万円の減少となりました。この主な要因は、「支払手形及び買掛金」の12百万円増加などがあったものの、「短期借入金」の92百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて32百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の37百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億4百万円減少し、16億35百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円の減少となりました。この主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の4百万円増加があったものの、「利益剰余金」の19百万円減少など（親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円の計上及び配当金の総額6百万円）によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果4百万円を得て、投資活動の結果7百万円及び財務活動の結果1億37百万円を使用し、当第1四半期連結会計期間末には9億51百万円（前年同四半期比46百万円増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失11百万円及び売上債権の増加額10百万円により一部相殺されたものの、仕入債務の増加額20百万円及び減価償却費5百万円などにより、営業活動の結果得た資金は4百万円（前年同四半期は28百万円の使用）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、保険積立金の積立による支出4百万円及び有形固定資産の取得による支出3百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は7百万円（前年同四半期比1百万円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額70百万円及び長期借入金の返済による支出60百万円並びに配当金の支払額5百万円などにより財務活動の結果使用した資金は1億37百万円（前年同四半期比1億10百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成29年5月18日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,347	1,184,656
受取手形及び売掛金	669,432	680,249
商品及び製品	200,695	198,699
仕掛品	75	32
原材料及び貯蔵品	25,046	27,503
その他	32,800	32,402
貸倒引当金	△1,259	△1,487
流動資産合計	2,252,138	2,122,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	294,860	295,090
減価償却累計額	△238,070	△239,314
建物及び構築物(純額)	56,789	55,775
土地	88,371	88,371
リース資産	32,594	35,276
減価償却累計額	△12,610	△14,244
リース資産(純額)	19,983	21,032
建設仮勘定	886	426
その他	185,427	188,459
減価償却累計額	△166,179	△167,492
その他(純額)	19,248	20,967
有形固定資産合計	185,280	186,573
無形固定資産		
その他	9,667	9,198
無形固定資産合計	9,667	9,198
投資その他の資産		
投資有価証券	95,584	101,828
保険積立金	158,246	162,747
その他	59,452	58,775
貸倒引当金	△4,227	△4,227
投資その他の資産合計	309,055	319,123
固定資産合計	504,003	514,895
資産合計	2,756,141	2,636,953

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	472,085	484,865
短期借入金	600,527	508,300
リース債務	6,350	6,630
未払法人税等	5,126	2,563
賞与引当金	10,007	2,300
その他	82,095	99,442
流動負債合計	1,176,191	1,104,102
固定負債		
長期借入金	247,977	210,087
リース債務	14,824	15,681
繰延税金負債	8,357	10,249
役員退職慰労引当金	85,400	87,400
退職給付に係る負債	168,068	168,013
その他	39,260	40,274
固定負債合計	563,887	531,705
負債合計	1,740,079	1,635,808
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	41,509	22,240
自己株式	△11,081	△11,081
株主資本合計	996,858	977,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,204	23,556
その他の包括利益累計額合計	19,204	23,556
純資産合計	1,016,062	1,001,145
負債純資産合計	2,756,141	2,636,953



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,141,700	1,125,826
売上原価	855,167	841,281
売上総利益	286,533	284,544
販売費及び一般管理費	※ 295,304	※ 297,535
営業損失(△)	△8,771	△12,990
営業外収益		
受取利息	14	8
受取配当金	1,010	912
仕入割引	1,128	831
貸倒引当金戻入額	70	-
破損商品等賠償金	115	83
その他	416	629
営業外収益合計	2,755	2,465
営業外費用		
支払利息	1,112	1,106
その他	52	0
営業外費用合計	1,164	1,106
経常損失(△)	△7,179	△11,631
特別利益		
固定資産売却益	362	-
特別利益合計	362	-
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,817	△11,631
法人税、住民税及び事業税	488	639
法人税等合計	488	639
四半期純損失(△)	△7,306	△12,271
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,306	△12,271

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△7,306	△12,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,403	4,351
その他の包括利益合計	△9,403	4,351
四半期包括利益	△16,709	△7,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,709	△7,919
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,817	△11,631
減価償却費	6,870	5,394
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,800	2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△644	△54
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,399	△7,707
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△70	228
受取利息及び受取配当金	△1,025	△921
仕入割引	△1,128	△831
支払利息	1,112	1,106
固定資産除却損	-	0
固定資産売却損益(△は益)	△362	-
売上債権の増減額(△は増加)	67,238	△10,817
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,488	△418
仕入債務の増減額(△は減少)	9,638	20,625
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,607	2,700
その他	7,278	8,098
小計	△19,205	7,772
利息及び配当金の受取額	834	743
利息の支払額	△1,039	△986
役員退職慰労金の支払額	-	△2,100
法人税等の支払額	△9,018	△1,061
法人税等の還付額	2	99
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,425	4,467
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△450	△450
定期預金の払戻による収入	1,050	750
有形固定資産の取得による支出	△5,641	△3,143
有形固定資産の売却による収入	173	-
無形固定資産の取得による支出	-	△683
貸付金の回収による収入	236	178
保険積立金の積立による支出	△4,623	△4,500
その他	275	245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,980	△7,603
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	△70,000
長期借入れによる収入	20,000	-
長期借入金の返済による支出	△65,001	△60,117
リース債務の返済による支出	△2,530	△1,760
自己株式の取得による支出	-	△2
配当金の支払額	△9,717	△5,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,248	△137,254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△64,653	△140,390
現金及び現金同等物の期首残高	970,047	1,091,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 905,393	※ 951,506

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
荷造運送・保管費	78,268千円	81,535千円
給料手当及び賞与	77,499	79,130
研究開発費	6,831	6,470
退職給付費用	10,280	9,501
役員退職慰労引当金繰入額	2,100	2,000
賞与引当金繰入額	2,492	2,200
貸倒引当金繰入額	—	228

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
現金及び預金勘定	1,128,385千円	1,184,656千円
有価証券(MMF等)	10,158	—
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,150	△233,150
現金及び現金同等物	905,393	951,506